阿賀野市立吉田東伍記念博物館

友仍会通信

2019-2020

No.1 (通巻79号)

2019.7.1発行

■ 目次	友の会会長挨拶 / 記念誌刊行のお知らせ	
	平成31年度友の会総会報告	•
	夏休み子ども博物館 / ミュージアムコンサート2019 / サークル活動 / 友の会伝言板 / 編集後記	2

発行:吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1(阿賀野市立吉田東伍記念博物館内) TEL 0250-68-1200 FAX 0250-68-5016 web版友の会通信 http://wind.ap.teacup.com/togo/

博物館HP http://www.city.agano.niigata.jp/togo_museum/index.html

E-mail y.togo@oregano.ocn.ne.jp

友の会設立20周年記念事業を終えて

吉田東伍記念博物館友の会 会長 長谷川 明 一

令和元年6月15日(土)、友の会の第21回目の総会を開催することができました。総会当日は、前夜からの強風(ダシの風)が吹いており、生憎の天候にも関わらず多数の会員の皆様をお迎えし、開催できましたことは誠に喜ばしいことであり、感謝申し上げます。

さて、今回の総会は例年と違って、通常総会の議題と併せて昨年度に実施した友の会設立20周年記念事業の報告についても御審議を賜りました。

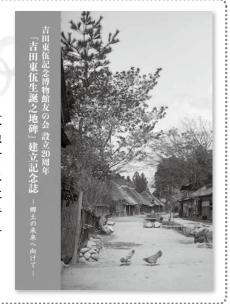
「吉田東伍生誕之地碑」建立にあたって、募金総額1,828,000円、寄付者数309名という大変多くの皆様から御厚志を賜り、除幕式・祝賀会の挙行から記念誌の発刊に至る事業を無事行うことができました。特に友の会20年のあゆみを紹介した記念誌を会員の皆様のお手元に報告できる喜びは何事にもまして感激のひと言であります。ここにあらためまして御厚志を賜りました寄付者の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、今年度は役員改選期にあたり、原案どおり会長留任となりましたことを御報告申し上げます。不肖の会長ではありますが2年間の任期を新たな気持ちで歩み、今後予測される課題や総会における会員の皆様からの要望や提案に対しても、気概を以て事を前に進めて参りたいと思います。当友の会に対し更なる御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記念誌を 刊行しました!

友の会では、『吉田東伍記念博物館友の会設立20周年「吉田東伍生誕之地碑」建立記念誌-郷土の未来へ向けてー』を編集・発行しました。友の会会員及び建立募金に御寄付いただいた皆様には1冊贈呈させていただきます。希望者には友の会事務局(博物館受付)で1冊500円で頒布しています。

B5 版全 100 頁 (カラー図版4頁)



会費納入のお願い

会費 (年額)

一 般: 2,000 円 学生(大学生以下): 500 円 家族会員: 3,000 円 賛助会員:1 □ 10,000 円

納入方法

博物館受付で直接納入するか、 同封の振込用紙をご利用下さい。本通信と行き違いで既に 会費を納入された場合はご容 赦願います。

平成31年度(令和元年度) 友の会総会報告

令和元年6月15日(土)午前10時から博物館内の吉田東伍生家で、平成31年度総会が開催されました。長谷川明一会長が開会あいさつ、「ちあき」の会会長の新藤幸生様より御祝辞をいただいた後、会長を議長として議事を進行しました。議事では、平成30年度事業報告・決算報告、設立20周年記念事業報告・決算報告、役員の改選、平成31年度事業計画・予算案について慎重審議の結果、原案どおり承認されました。参加された会員からは、新規会員の勧誘や他団体との連携・交流などの提案もありました。総会後には記念誌の刊行を記念して昼食会を開催。会員間の親睦を深めました。

友の会設立20周年事業を無事完了し、長谷川明一会長(留任)のもと新たなスタートを切ることができました。 節目の年を越えて、博物館をさらに盛り上げて、楽しく学ぶ友の会活動を展開していくために会員一同、思 いを新たにしました。 (友の会事務局)

○平成30年度 事業報告

期日	内容
5月 12日 (土)	平成30年度 設立20周年記念吉田東伍記念博物館友の会総会
6月 2日 (土)	阿賀野市立吉田東伍記念博物館コンサート2018 TOGO Museum Ensemble 第20回記念演奏会 バロック名曲集 ~ヴィヴァルディ「四季」を全曲演奏!~
8月 3日 (金)	とんと昔を聞く会
10月 12日 (金) ~ 12月 24日 (月)	特別企画展「吉田東伍と七人の子どもたち」
10月 14日 (日)	吉田東伍生誕之地碑除幕式・記念サロンコンサート・祝賀会
11月 12日 (月)	秋の研修旅行 〜只見町・河井継之助記念館と戊辰戦争150年〜
3月 31日 (日)	友の会設立20周年記念誌の刊行

○平成31年度(令和元年度)事業計画

期日	内				
6月 15日 (土)	平成31年度(令和元年度) 吉田東伍記念博物館友の会総会(記念誌刊行記念昼食会)				
8月 2日 (金)	とんとむかしを聞く会				
8月 3日 (土)	阿賀野市立吉田東伍記念博物館コンサート2019 TOGO Museum Ensemble 第21回演奏会 夏休みこども博物館 ~ 0 歳からのファミリーコンサート~				
9月 23日(月祝)	市民文化講演会(国民文化祭関連、内容調整中)				
10月(未定)	サロンコンサート Vol.17				
11月(未定)	秋の研修旅行 ~群馬県/吉田東伍博士の講演故地・太田市を訪ねる~				
3月(未定)	第18回研究発表会				
	①会員数の拡大				
	②吉田東伍記念博物館の博物館活動への協力				
	③パネル巡回展の実施				
通年	④紙芝居「吉田東伍の生涯」の巡回				
	⑤他の文化団体との連携・協力				
	⑥学校教育への支援				
	⑦インターネットによる広報活動「友の会通信ウェブ版」の充実				

楽しかった吉田東伍記念博物館友の会 秋の研修旅行

友の会会員 小 嶋 佳 彦

阿賀野市立吉田東伍記念博物館友の会(以下、友の会)秋の研修旅行、とても楽しかった。私にとっては久しぶりの団体旅行であった。紀行文ということで、当日の行程の概略をまとめてみた。まず、事務局が用意した研修旅行のタイトルが魅力的であり、行ってみたいという気持ちになった、『晩秋の福島県只見町・河井継之助記念館』。この晩秋という単語に興味をそそられた。

今回の企画は、戊辰戦争150年にあわせて福島県只見町の河井継之助記念館をメインとしつつ、晩秋の紅葉を眺めながら、没後100年の吉田東伍博士の最後の論文のテーマである河井継之助をめぐる歴史風景をたどってきたので報告する。

まず、はじめに、私は18歳まで旧安田町六野瀬で生まれ育ち、24歳まで東京で学生をしていた。その後は旧新津市の秋葉山のふもとで住んでいる。今はときおり安田に帰ってきている。私自身は伝記や歴史ものは得意ではないのだが、なぜ吉田東伍に興味を覚えたのかというと、吉田東伍は安田で生まれ育ち、その後、新津の大鹿で生計を立て、研究を続けたというところが自分の生き方とわずか一部分ではあるが重なるところがあり、生き方に憧れる部分もあるから、といったところである。

本題に戻すが、研修旅行の日程は2018年11月12日(月・祝)で、参加者は長谷川明一会長と事務局を中心としつつ「ちあき」の会の吉田ゆき様など総勢21名で、和気あいあいとしたものであった。私自身は知っている人も少ないだろうし、若干の緊張感を持って参加したのだが、そんな不安はすぐに吹っ飛んだ。それは研修旅行が開催された1カ月前の10月14日に友の会設立20周年記念・吉田東伍生之地碑の除幕式と祝賀会に参加させていただいたことがよかった。参加者の中には、私のことは知らないが、私の父と母を知っている人もおられ、温かく迎えていただいたような感じがした。

行程は、事務局が用意したバスで7:30に新津駅西口を出発し、私はここから吉田ゆき様と乗車した。8:00には安田体育館駐車場から全員を乗せ出発した。経路は磐越道・会津坂下経由で只見町へ到着した。まず今回の主目的である『河井継之助記念館』を約1時間以上かけて、私にも分かるようにていねいに説明をしていただいた。河井継之助の誕生から亡くなる41歳までの壮絶な生き方を通して、今でも只見町はじめ福島県のみなさまに好感を持って迎えられ、私は長岡市在住でなくても新潟県人というだけで、歓迎されているような感覚になった。河井継之助はまさに幕末にロマンをかけた男といえる。(写真1)

次に只見町塩沢の『山塩資料館』を見学し、資料館の説明 文の引用ではあるが、明治時代の塩作りの様子で、「山塩に関 する資料は全国的にも例が少なく、とくに近代における山塩の 生産技術を克明に表現した絵は、極めて貴重な記録といえます。」 とされ、ここではなぜ海ではなく山で塩ができるのかに興味を そそられた。 次に河井継之助が亡くなり、火葬された場所の説明を受け、 彼の墓(医王寺)で手を合わせた。

次はお楽しみの昼食会場へ向かった。場所は只見駅前の「旅 館みな川」で約1時間にわたり美味しい食事を楽しんだ。

午後からは壮大な『田子倉ダム』を見学し、その後、『只見町ブナセンター(ただみ・ブナと川のミュージアム)』を見学した。地域の野生動物のはく製が数多く展示されていたのが興味深かった。またこのセンターの駐車場には、「只見町野生動植物保護監視中」とペイントされた巡回車があり、自然や動物を大切に扱っている町の印象も深めた。

その後、只見駅に立ち寄りお土産を買いつつ、会津バスの 只見駅前停留所があり、なんとそこには会津田島駅行きの1日 1本のバス時間が表示されていた。不便だとは思うが地域の 人たちにとっては大切なものだと感じた。(写真2)

最終の見学場所は『叶津番所(旧長谷部家住宅)』で、只見町教育委員会の記載文を引用すると、一部省略だが、「本住宅は規模の大きい上層家屋で、うまや中門をつけた曲がり屋です。建立年代としては江戸後期と推定されます。」となっている。この建物は大きくリフォームされたようなところもなく、この年月によく持ちこたえたものだと感心した。(写真3)

その後は帰路に向かい、磐越道・会津坂下経由、安田体育 館駐車場、新津駅西口駐車場と進行し無事解散した。 友の会の研修旅行に初めて参加したが、全員が事故もケガも なく家路に着けたことが何よりの収穫であった。

研修旅行後記として、事務局からはいろいろなことの段どり、感謝いたします。後日には参加者へ当日の写真が配布され、それを見てさらに感慨深くなった。私もカメラを持参し撮影してみたものの、事務局の撮影した写真は構図も決まっていて、やはり全体像を撮るという意気込みを感じた。ありがとうございました。



▲写真1/河井継之助終焉之地の碑を囲んだ友の会の参加者たち

写真 2 ▶ 会津バスの只見 駅前停留所から会 津田島駅に行く、 11:25発の1日1 本のバス停留所





▲写真3/叶津番所(旧長谷部家住宅)

夏休み子ども博物館 友の会協賛企画

とんとむかしを

市域に伝わる懐かしい
昔話の語りを聞く会です。
日本

8月2日命 14:00~15:00

会場

吉田東伍記念博物館 2階研修室

入場料

友の会会員:無料

一 般:博物館入館料300円

中学生以下:無料

申し込み不要(直接会場へどうぞ)

Togo Museum Emsemble第21回演奏会

0歳からのファミリーコンサート

ヴァイオリンやチェロなどによる名曲コンサート。 楽器や指揮を体験することもできます。

8月3日(土) 11:00~12:00(10:30開場)

会 場/吉田東伍記念博物館 2 階研修室

曲 目/「情熱大陸」「勇気 100%」ほか

出演/ヴァイオリン:奈良秀樹、和田意織 ヴィオラ:長尾幸

チェロ:安部 信之介 コントラバス:井関 智加

入場料/友の会会員:無料

一般:博物館入館料300円

中学生以下:無料

申し込み不要(直接会場へどうぞ)

友の会天文部 「昼空への間待2019」

天体望遠鏡で 月や土星・木星などを 眺めてみませんか。

★期 日/毎週木曜・土曜・日曜、祝日の晴天日

(晴天でも開催できない場合があります)

★時 間/日没~午後8時頃(9月まで開催)

★会 場/安田ショッピングセンター・ウインディ

キッド側入り口の脇

★問い合わせ/友の会・天文部 廣田 ☎ 090-3647-0499

開催する場合は当日の夕方、 ツイッター(twitter)で 告知します。ツイッターの 登録は、右のQRコードを 利用すると簡単です。



友の会天文部は活動初年度の平成30年度は、ウインディ出入り口付近を観測会場として、7月12日(土)から10月21(日)まで、計7回、延べ154名の参加がありました。参加者の大部分は買い物客の方々でしたが、会員の方やツイッターからの参加者も若干名いらっしゃいました。買い物客が中心のため、初めて天体望遠鏡を覗く方がほとんどで、「初めて月を見て感激しました」「土星ってほんとうに輪があるんですね」「これって本物ですか?」等々、歓声と笑顔に溢れる観測会となりました。 (責任者:廣田正博)

友の会伝言板・事務局より

- ① 吉田千秋(東伍の次男)の入門用ムック「ふるさとを愛した吉田千秋」が「ちあき」 の会より刊行されました。吉田東伍記念博物館の窓口でも販売しています(頒 布価格800円)。吉田千秋ゆかりの品を図版入りでわかりやすく紹介しています。
- ② 新規会員を募集しています!ご近所、お友だち、ご家族に入会のお声がけをお願いします。
- ③ 原稿を募集しています! 『友の会通信』の「会員の研究ノート」 「会員随想」 「友の会伝言板」のコーナーへの投稿をお待ちしています。詳しくは友の会事務局までお問い合わせください。

編集後記/
設立20周年の節目を越えて、友の会の21年目がスタートしました。 記念誌の編集は、友の会のあゆみを振り返る貴重な機会になりました。編集作業のため にたびたび開催した運営委員会では冊子の内容にとどまらず、博物館・友の会とは何か という本質にふれる議論の輪が広がりました。記念誌の副題「郷土の未来へ向けて」は、 吉田東伍博士の言葉「郷土の地理・郷土の歴史というものは、とりもなおさず郷土の未 来に向かってその応用を待つものである」に因んでいます。人の一生でいえば20年はま だまだ通過点です。課題は山積ですが、活動の成熟をめざして、一歩一歩誠実な歩みを 積み重ねていきたいと思っています。会員の皆様もぜひ博物館へお越しいただき、友の 会の活動に御参加下さい。 (事務局T)

令和元・2 年度 吉田東伍記念博物館友の会役員

役 職	氏		名	
会 長	長谷	-)	明	_
副会長	百	都	政	弘
副会長	藤	崎	達	也
会計監事	廣	田	正	博
会計監事	渡	辺	ヒ	サ
運営委員	小	野	民	裕
運営委員	小	林		弘
運営委員	白	井	晧	_
運営委員	信	田	久	榮
運営委員	渡	辺	輿志	:和
事 務 局	小野	里	澄	子
事 務 局	田	中	洋	史
事 務 局	金	子	祐	也